



合併当時の役場庁舎（昭和30年）



町制施行五十周年を迎えて

昭和三十年四月、文化や歴史を共有する世田米町、下有住村、上有住村の一町二村が合併してから半世紀、今年、住田町は五十年の大きな節目を迎えました。この間、時代の大きなうねりの中、幾多の試練を乗り越え、産業の振興、教育、福祉の向上、生活基盤の整備に努め、本町は着実な発展を遂げて参りました。

昨今は、少子・高齢化の進行や情報通信技術の革新、国際化、そして地方分権など急速な社会経済情勢の変化の中で、地方自治体には自らの責任と判断により住民の視点に立った行政の推進が求められております。

このような中、本町におきましては、「自立・持続する町づくり」を目指し、「森林・林業日本一の町づくり」「宿場・賑わいルネッサンス」「地域協働システムの構築」の三つのプロジェクトを掲げ、森林認証の取得、木質バイオマスエネルギーの導入、無農薬・無化学肥料農業の展開、民公一体となった地域づくりなどに取り組んでおります。

今後も、これまで先人が築き上げてきた町の歴史や伝統をさらに発展させ、次代に引き継ぐとともに、魅力ある農山村「住田い町づくり」に向け、町民と行政が共に知恵を出し合い、共に汗をかきながら、真の豊かさを感じられる町づくりを目指して参ります。

今日まで、町勢発展のために限らないご支援をいただきました関係各位に感謝と敬意を表しますとともに、この合併五十周年を機に次なる時代に向かって、町民とともに歩んで参る所存でありますので、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

住田町長 多田 欣一



30年 新生住田町がスタート

- 4月◆世田米町・下有住村・上有住村の一町二村合併により住田町が誕生
- ◆町役場を世田米字世田米駅に設置
- ◆町長職務執行者に菊池伊蔵氏が就任
- ◆旧町村の議会議員の任期を六カ月延長し、新町の議員となる
- ◆第一回町議会を招集
- 5月◆町長選挙、泉田増治郎氏が初代町長に当選
- 9月◆町議会議員選挙、二十六人の新議員が誕生
- 10月◆改選後第一回町議会を招集

31年 町章音頭小唄が決定

- 2月◆町議会で独立高校誘致を決議
- 3月◆町内三農業共済組合が合併して住田町農業共済組合が発足
- 4月◆新農山漁村総合対策事業の指定を受ける
- ◆町貸付乳牛の導入を開始
- 5月◆緑のふるさとづくりで、杉などの苗木九十九万五千二百五本を植樹
- 6月◆住田町社会福祉協議会が誕生
- ◆町章、住田音頭、住田小唄が決定
- 12月◆上有住産業会館を新築
- ◆公営住宅二十棟を建設（上有住十棟、下有住十棟）
- ◆各分団に消防動力ポンプを配備

32年 世田米商店街に鈴らん灯設置

- 3月◆役場庁舎建設位置を世田米字川向九十六番地一に決定
- 7月◆三地区農業委員会を統合し住田町農業委員会が発足、初の農業委員選挙
- 10月◆町内の商店主らが、世田米商店街に整備した鈴らん灯を町に寄付
- ◆産業振興共進会を、世田米中学校と馬検場で開催
- ◆町議会で世界平和の願いをこめ原水爆反対を決議
- 12月◆県道高田遠野線高瀬橋が永久橋に架け替えられる
- ◆公営住宅二十棟を新築（世田米二十棟）



世田米商店街に設置された鈴らん灯（昭和32年）



住田音頭・住田小唄の発表会（昭和31年）